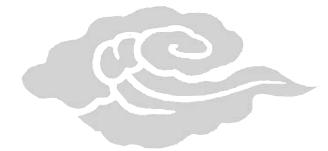
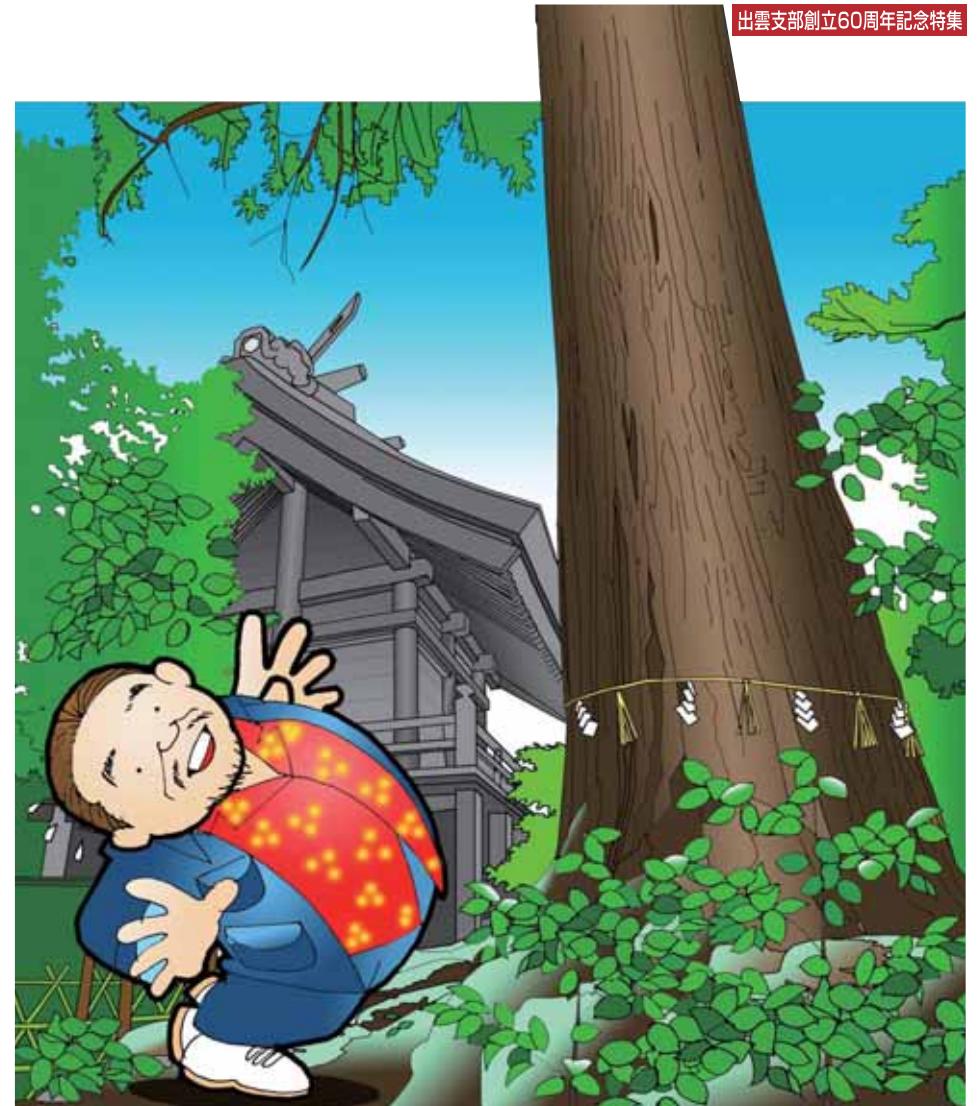


# 建設会報 いずも



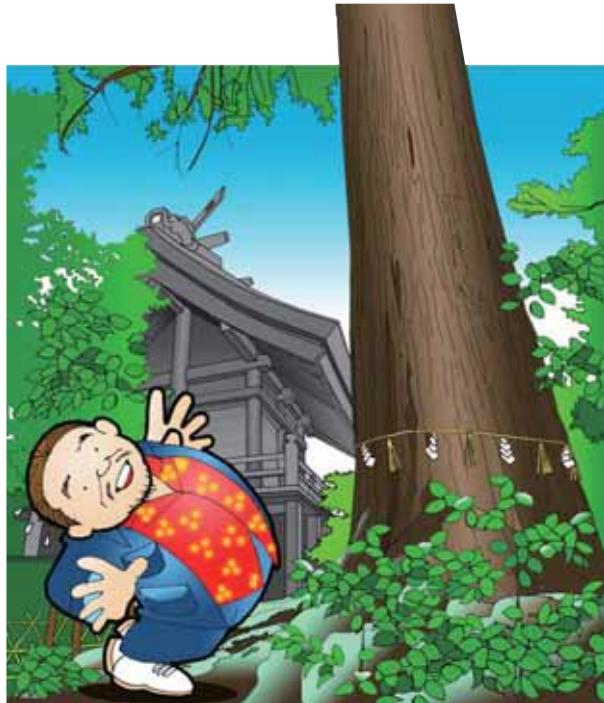
No.120

出雲支部創立60周年記念特集



編集・発行人 (社)島根県建設業協会出雲支部  
経営改善研究委員会

## 須佐神社の大杉



## —表紙のことば—

イラストと文 渡 部 良 治

スピリチュアルカウンセラー江原啓之氏が、パワースポット日本一の折り紙をつけ、「引き込まれるように力強い靈的なパワーを感じた」という大杉は、出雲市佐田町の須佐神社本殿の裏手にあるご神木です。

樹齢1200年、周囲6m、高さ35mの巨木で、地域の人たちからは「大杉さん」と崇められ、江原氏により全国に紹介されて以来、多くの参拝者が訪れています。

須佐神社は須佐之男命を祭る全国2万社の総本山といわれ、近くの出雲須佐温泉ゆかり館や、八雲風穴などに併せ、新しい観光スポットとして注目されています。



## CONTENTS

- |                            |                      |    |
|----------------------------|----------------------|----|
| ●巻頭言／中筋                    | 豊通〔(社)島根県建設業協会出雲支部長〕 | 1  |
| ●新任のご挨拶                    |                      |    |
| ／杉埜                        | 富雄〔出雲労働基準監督署長〕       | 3  |
| ／川上                        | 穂〔出雲警察署長〕            | 4  |
| ／佐野                        | 卓司〔出雲県土整備事務所長〕       | 5  |
| ●HAPPY NEWS 2008           |                      | 6  |
| <b>出雲支部創立60周年記念特集</b>      |                      |    |
| ／創立60周年の歩み                 |                      | 7  |
| ／誰か昭和を想わざる 昭和23年           |                      | 8  |
| ／創立61周年に／梅野 治彦〔株トガノ建設〕     |                      | 9  |
| ／60周年記念事業北海道旅行記            |                      |    |
| ／福田 美樹〔経営改善委員長〕            |                      | 10 |
| ●建設業許可に関する手続きについて          |                      | 11 |
| ●経営事項審査 改正内容               |                      | 12 |
| ●安全パトロール結果について／三代 修治〔安全委員〕 |                      | 13 |
| ●新任挨拶／小野 博己〔事務局長〕          |                      | 14 |
| ●編集後記／山根 強〔経営改善研究委員〕       |                      | 15 |



## 「オバマ大統領に学ぶ=他者への共感と謙虚さ」

(社)島根県建設業協会出雲支部  
支部長 中筋 豊通

### 『追加対策56.5兆円規模』 『財政出動15兆円 成長分野に重点配分』

雇用や企業の資金繰り支援などの緊急対応に4兆9千億円の国費を投入。中小企業向けの緊急保証枠も30兆円に拡大・・・・

環境、健康などの成長戦略には6兆円を投じ、事業規模8兆5千億円とする。省エネ家電や環境対応車の購入促進策を導入・・・・

公共事業の地方負担の9割を国が肩代わりするなど「安全と活力の実現」に事業規模で3兆5千億円を確保・・・・(山陰中央新報より抜粋)

未曾有の経済危機からの脱却に向けて、昨年の秋成立した①20年度の一次補正、②今年に入ってからの二次補正、③21年度予算、①②③で総額75兆円（事業規模）の3段ロケットで景気を支え、そして今回の経済危機対策09年度補正予算、追加経済対策に民間の意見を取り入れるために政府が発足させた「経済危機克服のための有識者会合」の結果を踏まえての政府案である。

57兆円を内需拡大に取り組む中国、75兆円の景気刺激策を打ち出したオバマ政権には及ばないが、財政支出、事業規模とも過去最大の大型対策となり、雇用や資金繰りを支援、環境などの成長分野に重点配分、不況脱却を目指すとしています。学校の耐震化や電柱の地中化や羽田、成田空港の拡充整備、首都圏の環状道路整備などが盛り込まれ、公共投資に重点が置かれた対策は本当に久し振りです。

島根県は、どうでしょうか、21年度予算の基本的な考え方は「景気後退の影響が急速に拡大する中、現下の経済危機に対処し、県経済と県民生活を守るために、国の経済対策に呼応し、さらに県独自の措置も織り込んで、需要と雇用の創出に向けた経済対策を実施するための予算を措置した。」とあります。

08年度補正予算に、公共事業を中心に120億円超を計上するとともに、09年度当初予算でも要求枠外で約80億円を確保。歩道や道路の整備、河川改修、治山、地滑り防止対策など、県民の安心・安全に関する事業を展開する。正しく県も公共事業中心に下支えです。具体的に地元にどんな事業が展開されるかは未知数ですが、私たち建設業の出番がありそうです。

60周年という一つの節目を終え、新たなるスタートを切った建設業協会、社会貢献はもちろんですが、島根県の総合的発展のため、この経験を地域にどう活かすか、そして顧客の満足と信頼を得るための経営力強化は必要不可欠です、協会員切磋琢磨、知恵を出し、この経済危機を乗りきって行きましょう。

「オバマ大統領に学ぶ=他者への共感と謙虚さ」不当な低価格競争は自滅への道、地域の雇用確保のためにも、適正価格による適正な競争により企業継続を図りたいものです。ありがとうございました。



「Yes, we can」  
「Yes, we did」



## 新任のご挨拶

出雲労働基準監督署  
署長 杉埜富雄

このたび、4月1日付で、出雲労働基準監督署長を拝命いたしました杉埜（すぎの）と申します。

前任地は福岡労働局福岡東労働基準監督署ですが、島根は初めての勤務になります。

当署の所轄は、出雲市、大田市、雲南市のうち三刀屋町、吉田町、掛合町、簸川郡斐川町、飯石郡飯南町の3市2郡と広範囲に及んでおり、さまざまな業態の方が事業を展開していますが、雇用情勢は、昨年夏以降の景気後退を反映して、悪化の一途をたどっており、島根県の有効求人倍率は0.6まで低下しています。

こうした中で、当署管内の建設業における労働災害（休業4日以上の死傷災害）は、平成20年に年間で56件発生しており、依然として高水準にあります。

労働災害の内訳を見ますと、「墜落・転落」によるものが17件と全体の3割を占め、そのほか、「切れ・こすれ」によるものが9件、「飛来・落下」によるものが6件などとなっています。

労働基準監督署では、事業場を個別に臨検し、監督指導等を行っていますが、労働災害防止の実効をあげるためにには、事業者が自主的に個々の事業場の建設物、設備、原材料等による危険性又は有害性等の調査等いわゆる「リスクアセスメント」を行い、危険性の洗い出しと洗い出した危険に対する災害防止対策を講じることが重要だと考えています。

また、労働安全衛生規則が改正され、足場等からの墜落防止等の対策を強化するため、①わく組足場においては、交さ筋かいに加え、「下さん」や「幅木」を設けること、②わく組足場以外の足場においては、「高さ85センチメートル以上の手すり」に加え、「中さん」等を設けること、③物体の落下防止措置として、「幅木」、「メッシュシート」、「防網」を設けること、さらには、足場の安全点検等を充実する規定が盛り込まれ、本年6月1日から施行されます。

建設現場における労働災害防止に、より自主的、積極的に取り組んでいただくようお願いいたします。

最後になりましたが、貴協会と貴協会の会員皆様のますますのご発展とご繁栄を祈念いたしまして、着任のご挨拶とさせていただきます。



## 着任のご挨拶

出雲警察署  
署長 川上 穂

3月23日付で出雲警察署長に着任いたしました。管内の治安責任者として、安全と安心を確保した良好な治安維持に、署員と共に全力で取り組みますのでよろしくお願いします。

協会の皆様方には、平素の企業活動を通じて、地域社会の発展にご尽力されておられることに敬意を表しますと共に、暴力追放や交通安全活動をはじめとする警察業務の各般にわたり、格別のご理解とご協力を賜っていることに対し厚く御礼を申し上げます。

出雲、斐川地域は弥生時代の古墳や、荒神谷遺跡の青銅器群をはじめとする歴史的な史跡が数多く存在するとともに、昨年から出雲大社においては100年に一度といわれる「平成の大遷宮」が始められるなど、その文化的な意義が、全国的に注目を集める地域となっています。

また、広大な斐川平野や、日御崎をはじめとする日本海の海岸線等の豊かな自然に囲まれた風光明媚な土地であり、そこに暮らす住民の皆様も大変民情豊かな方々であります。

この地域の安全、安心を確保するため出雲警察署では、本年の運営指針を「県民とともに力強い警察」として、

①安全・安心なまちづくりの推進 ②重要犯罪、組織犯罪等の徹底検挙

③交通事故の抑止 ④テロ、災害等緊急事態対策の推進

の四本柱を重点に、日本一治安の良い「いざも」を目指して、職員一人一人が誇りと使命感を持ち、各業務に取り組んでいきます。

良好な治安の確保には、街頭における警察活動の強化を図ることはもとより、地域住民の皆様の理解と協力が不可欠であり、とりわけ住民の皆様による自主的な取り組みと関係機関・団体が連携した「協動活動」の推進が必要であります。

当地域では、住民の皆様の「地域の安全は、地域の手で守る」という防犯意識が非常に高く、防犯ボランティア団体やパトロール隊の組織化や青色防犯灯の設置が積極的に行われております。

また、飲酒運転の根絶につきましても、職場や地域の多数の方々が「飲んだら乗らない・乗るなら飲まない・乗るなら飲ませない」の三無い運動の実践を署名により提出されるなど、積極的かつ進取的な取り組みが行われております。

これらの活動は地域の防犯力を高め、各種犯罪・事故の抑止に多大な成果となつております。

警察といたしましては、今後とも協会の皆様と緊密な連携を図りつつ、安全・安心な地域社会の実現に取り組みますので、ご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い致します。

終わりになりましたが、貴協会の益々のご発展と会員御一同様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして着任の挨拶とさせていただきます。



## 着任のご挨拶

島根県出雲県土整備事務所  
所長 佐野卓司

この度の異動によりまして、出雲県土整備事務所長に就任いたしました佐野卓司でございます。出雲県土整備事務所勤務は初めてでございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

貴協会並びに会員の皆様方には、島根県が取り組んでいます安全で安心できる県土づくりを主体とする社会資本の整備及び維持管理に、平素より温かいご支援とご尽力をいただきおりまことに厚く御礼申し上げます。

さて、本県では平成16年10月に策定した「中期財政改革基本方針」に次いで、平成19年10月には「財政健全化基本方針」を策定して、大胆な財政改革に取り組んでいます。また、これに加え目下の経済危機をいかに乗り切るかという重要課題への対応も求められております。平成21年度当初予算段階では、財政健全化基本方針に沿った多額の収入不足の状況であり、今後も歳入の確保と歳出予算の効率的な執行を図る必要があります。

本県では平成23年度までを集中改革期間と位置づけ、平成23年度の公共事業予算是県単独費ベースで平成19年度予算の70%までに削減・縮小するとしていまして、平成20年度、平成21年度と基本方針に基づき、公共事業予算是減少の一途を辿っております。

しかしながら、昨年度の交付金事業の交付率嵩上げや、昨秋以降の金融・経済危機対策としての経済対策などにより、平成20年度の公共事業予算の前年度比は、事業費ベースで数%上回る結果となっており、また、平成21年度当初予算においても前年度を上回る見込みとなっておりまして、ここ最近、わずかですが持ち直し感がありますものの、引き続き、公共事業予算の効果的・効率的な執行に努めるとともに、事業の質的改善を図り、最小のコストで事業効果が発揮されるよう努力して参ります。

また、平成19年6月の大幅な入札制度改革以来、公共工事の公正で公平な競争性の確保、品質確保の推進、地域産業の育成及び電子入札制度の導入など、重要な課題に取り組んで参りましたが、本年度も引き続き一般競争入札や総合評価方式の拡充などに取り組むほか、県内業者への優先発注や県内業者の下請け、県内資材使用の優先などにも取り組んで参ります。

建設業を取り巻く環境が依然として厳しい中、会員の皆様方には経営基盤の改善や技術者などの人材育成、新技術・新工法の導入、入札制度への対応など、多方面に亘り、日々大変な努力を重ねられていることと思います。また、地域や地域経済の発展と活性化のために、重要な役割を担っておられます皆様方と、連絡・調整をこれまで以上に綿密にし、地域住民から信頼される社会資本整備を進めて参りますので、よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、島根県建設業協会出雲支部のますますのご発展と、会員の皆様方のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、着任の挨拶といたします。

ニッポンに、もっと、いつも、いいニュースを。

HAPPY NEWS

新聞がはこんだ

HAPPY NEWS

日本新聞協会は、「HAPPY NEWS キャンペーン」を実施しています。

新聞は、事件事故などの悲しいできごとや、政治経済の難しい話ばかりではなく、実はみんなの日々の生活に、いつも元気を届けようとしています。そんな新聞の横顔を知ってもらいたい、また、これから新聞にHAPPYな記事が増えて、読む人の心があたたかくなることで、世の中が少しでも明るくなったらいい——HAPPY NEWSキャンペーンにはそんな願いが込められています。

## 最もハッピーなニュース 第5回『HAPPY NEWS 2008』

『HAPPY NEWS 2008』入選作品

※一部抜粋（日本新聞協会 発表）



### 「妊娠、家族で喜んだ」「逆子直すの大変だった」

あなたはこうして  
産まれた

児童、涙流し感謝

**田子小・母親が特別授業**

保護者が「出産時の感動を子供たちに伝えた」と申し出で、学校支援ボランティア活動として、うれしい「初めてお誕生日現実保護者十五人がなかにいた時のことを聞かれて、同学年三千八人がけでよかったですと感想を児童に話を聞かせた。発表。涙を流しながら、

夜空ににっこり、スマイルマーク。  
一日夕方から夜にかけ、岡山県など国内の南西上空に金星と木星、三日月が接近して「笑顔」をつくる珍しい現象が観測された。

「顔」はやや左側に傾き、上空から優しく駆走の街を見つめているよう。岡山市内では日没から午後七時半ごろまで時間半程度ほど笑んだ後、それぞれ地平線に沈んでいった。

美星天文台（井原市）によると、三つの天体が地球から見て同じ方向に並んだため起きた現象。次回は、二〇一二年三月十六日ごろにそろい踏みするが「位置が変わるために、顔のようには見えないだろう」という。夜空を見上げた人に贈られた、貴重なレジントだつたよう。（河内慎太郎）

岡山市内で観測された  
金星(左上)、木星(右上)と月による「笑顔」  
=1日午後6時20分

平成20年度は(社)島根県建設業協会出雲支部創立60周年という記念すべき佳節を迎えました。  
歴代会長を顕彰すると共に60年の歴史を振り返ってみたいと思います。

## 歴代会長



宅和三郎  
初代会長  
(兼)農林組合長



吉田幸助  
2代農林組合長



小野嘉一郎  
2代会長



佐藤善吉  
3代会長  
(兼)県協会2代会長



谷本卓四  
3代農林組合長



奥益蔵  
県協会3代会長



馬庭克吉  
4代会長



梅野悦宏  
5代会長



中筋豊通  
現会長

## 創立60年の歩み

氏名	出雲建設協議会	出雲農林建設業協会	期間(年度)	摘要
宅和三郎	初代会長	(兼)農林組合長	S23~30	出雲建設業協会創立 会員数25名
吉田幸助		2代農林組合長	S30~37	
小野嘉一郎	2代会長		S31~36	創立10年には会員数70名を越すに至る。
佐藤善吉	3代会長		S37~42	昭和39年社団法人島根県建設業協会設立、出雲支部設立。39災の折には会員一丸となって復旧に取組む。昭和41年大津町に建設会館を建築、会員数100名を突破し、県下有数の支部となる。
	(兼)県協会2代会長		S42~43	
谷本卓四		3代農林組合長	S38~45	
奥益蔵	県協会3代会長		S43~49	
馬庭克吉		4代農林組合長	S46~47	
	4代会長		S43~60	創立30周年には盛大に祝宴を開催。会員数138名の陣容となる。
梅野悦宏	5代会長		S61~H9	平成4年度には会員数157名と至上最高の数となる。
中筋豊通	6代会長		H10~現在	創立50周年を記念してハワイ旅行を実施。平成17年7月塩冶善行町(現在の地)に新築移転。創立60周年を記念してさっぽろ雪祭り、流水を見学。現在会員数109名となる。

## 創立当時の出来事

### 誰か昭和を想わざる—昭和23年—

- 1/15 新宿もらい子殺し、寿産院の2人逮捕  
(死者103人)
- 1/26 帝銀事件(死者12人)
- 1/28 岡山沖で触雷により女王丸沈没(死者183人)
- 1/30 インドのガンジー暗殺
- 3/25 川島芳子、中国で銃殺
- 4/ 1 新制高校スタート
- 5/ 2 サマータイム始まる(～昭和27年4/11)
- 5/ 9 札文島で金環食観測
- 6/23 昭電疑獄で日野原節三社長逮捕
- 6/28 福井地震(死者3769人)
- 8/ 6 ロンドン五輪の裏で古橋広之進が1500m自由形水泳で世界新記録
- 8/15 韓国独立
- 9/ 9 北朝鮮独立
- 9/15 アイオン台風上陸(死者2368人)
- 10/ 7 昭電疑獄で芦田首相退陣
- 11/12 東京裁判で東条ら7人死刑判決  
(12/23執行)
- 11/24 岸信介らA級戦犯19名釈放

### ●明けても暮れても帝銀事件●

昭和23年に起きた帝銀毒殺事件(死者12人)は、当時の新聞を見てみると連日大きな扱いで報道、昭和20年8/15の敗戦以来、ここまで毎日毎日、日々的に報道されていた事件というのではなく、存在しなかったからだ。日中の都内での大量殺人であるのに手口や動機に不審な点も多く、犯人も不明、あたかも謎解きの推理小説を地で行く事件であった。

### ●各国指導者●

- |       |               |      |                |
|-------|---------------|------|----------------|
| ●アメリカ | トルーマン大統領(民主党) | ●ソ連  | スターリン書記長       |
| ●イギリス | ジョージ6世        | ●中國  | 蒋介石主席(国民党、～5月) |
|       | アトリー首相(労働党)   |      | 蒋介石総統(国民党、5月～) |
| ●フランス | オリオール大統領      | ●韓国  | 李承晩大統領(8月～)    |
| ●ドイツ  | 連合軍占領統治       | ●北朝鮮 | 金日成首相          |

### ●物価●

コロッケ3円・カレー50円・牛乳11円・コーヒー20円・ラーメン20円・そば15円・映画40円  
国鉄3円・銭湯6円・封書5円・ハガキ2円・新聞(1ヶ月) 20円・レコード35円・週刊誌10円

### ●当時の流行歌●

曲名	歌手	曲名	歌手
君待てども	平野愛子	東京の屋根の下	灰田勝彦
懐しのブルース	高峰三枝子	湯の町エレジー	近江俊郎
東京ブギウギ	笠置シヅ子	憧れのハワイ航路	岡晴夫



## (社)島根県建設業協会・出雲支部 創立(1949年)61周年に

株トガノ建設 梅野治彦

### 年年歳歳、花相似たり、歳歳年年、人同じからず「唐詩選」

(毎年毎年、花は同じように咲くけれども、それを愛する人間のほうは、年ごとに老いを加えてゆく。若いころは過去を振り返ることもなく、もっぱら将来のみを見つめて生きてゆくけれど、それがあるとき突然、過ぎ去った時間のほうが人生の持ち時間より長くなっていることに気づいて愕然とする。日が経つのがとりわけ早く感じるようになるのは、それからである。ただいたずらに嘆くのみで時間を空費するのは、もったいないといふほかない。)

出雲支部が創設されて61年、「國敗れて山河あり 城春にして草木深し…」1945年の終戦を境に日本は敵国であったアメリカの庇護を受けて理想の国づくりに取り掛かった。建設業界も郷土の再生復興に向けて発展拡大のスタートが切られた。終戦から3年経過した出雲の地に支部は創設されたのである。当時建設予算は、景気のテコに使われていたのが建設業であった。

その後国力がだんだんついたのちは国内の産業発展の基盤整備に主体が移ってゆく、国内幹線道路整備、当地区出雲にあっては国道9号線の改修整備。斐川の出雲空港新設・出雲市駅の高架整備など。国民一人当たりの所得向上、産業発展と共に生活基盤整備、下水道、町並み保存、生活道路整備等々に、と軸が移され国力も経済力で世界の2位の経済大国となつたが近年である。

工事を担当する監督官庁の管理監督にしても、現場重視型で竣工検査といえば、出来形を目視確認検査主体の形態から、施工経過管理重視型となり、会計検査などの透明性の確保から、現在の総合評価方式による入札に至る様に変わってきた。時代は技術革新し一日たりとも止まることなく進歩変化し続けています。今後、国地方とも財政難で、施工単価の低下など我々にとって厳しい変化は続く物と考えられます。これらにより我々の業界は、一層の厳しい努力が期待されることと思います。さらに、今後少子高齢化社会が進むのは確実ですが、未来を悲観的とらえるのは如何なものかと考える、変化には必ずチャンスの芽が含まれている。過去にも困難な時代は多々ありました、我々の先輩たちはそれに立ち向かい確実に克服して現在に至っています。

次なる世代、未来を生きる君たちに、我々が持てなくて、君たちだけが持っている大きな未来というもの。その輝かしい担い手でもある、君達。今という時代を作ってくれた先輩諸兄を見習って、君達もまた想像力という英知を集めて、新たな時代造りに夢を持って、おそれず、自らの努力で歩を進めてほしい。まず一步、その一步から新たな時代は創られる。



## 創立60周年記念事業 北海道旅行記

経営改善研究委員長  
福田 美樹



昨年は(社)島根県建設業協会創立60周年という佳節を迎へ何か記念に残る旅行をということで2泊3日のさっぽろ雪祭り旅行が企画されました。

出発初日、7時35分発は少し早い様な気もしましたが、この冬の時期は積雪のために第2便の飛行機の欠航が予想されるので第1便の出発となりました。羽田空港到着後少し時間を潰して、さあーいよいよ女満別へと出発しました。当日は天候があまりよくなかったけれど、女満別空港に近づいたら、着陸できるという機長のアナウンスがあり、一安心。日頃の精進のおかげ?でした。空港を一歩出ると、辺りは白一色、気温は-10℃。冬の北海道は初めての方が多く厳しい寒さを想像していましたが、湿度が低いせいか、何か心地良い寒さを感じました。バスに乗り換えオホーツク流氷館へと走らせ網走湖畔に到着。湖畔では「あったか網走祭り」が開催されており、凍った網走湖の上を歩く体験が出来ました。湖が厚さ40cmの氷で覆われるなんて、さすがは北海道ですね。初日は網走泊まり。

2日目。冬といえば流氷。網走港から朝8時出航の流氷砕氷船オーロラ号に乗り沖合に来ている流氷を行きました。30分ほど経つとまわりが騒がしくなったと思ったら、遠くに白い線の様なものが見えました。もしかして流氷? いよいよ流氷体験の始まりです。船内に座っていた人がだれも居なくなったら、デッキで写真撮影が始まっていました。せっかく沖合に出ても流氷を見られないことを考えれば、感動の一言でした。その後、網走監獄を見学し、そしていよいよ今回のメインでもあります「さっぽろ雪祭り」へと女満別空港を後にし、千歳空港に向かいました。札幌のこの祭りは戦後、1950年に地元の中高学生が6つの雪の像を大通り公園に造ったのが始まりとなっていると言われております、今では、2百万人の人が訪れる冬の風物詩として大変有名です。辺りも暗くなりライトアップされた巨大な雪像を見たとき、こんな巨大な物をよくぞ造ったなど、「おー」と思わず声が出る程すばらしい物でした。そして締めは札幌ラーメンで夜は更けました。

最終日は小樽市内の「小樽運河」などを散策し、昼食はお寿司を食べ北海道の味を満喫し、出雲空港に最終便にて無事帰ってきました。今回、60周年事業を記念する旅行に参加させて頂き、先輩方に感謝すると共に、今、我々の置かれている未曾有の建設不況を今一度、原点に返って考えて行かなくてはならないと思います。『最も強いものや賢いものが生き残るのではなく、最も変化に対応出来るものが生き残る。』という言葉があるように、変化に強い出雲支部になって、皆さんとまた周年事業が行えることを心から望んでおります。

## ◆建設業許可に関する手続きについて◆

HPトップ>土木総務課建設産業対策室>建設業>建設業許可関係

建設業法施行規則の改正により、平成21年4月1日以降提出される建設業許可関係の様式が変更となります。

\*様式の主な変更内容については、「建設業許可関係様式の変更等について」をご覧ください。

平成21年4月1日以降の建設業許可関係手続については、以下の各項目をご覧ください。

### (1)建設業許可申請書及び提出書類一覧(PDF:84KB)

建設業許可申請の際に必要な提出書類を記載しています。

### (2)変更等の届出事項及び提出書類一覧(PDF:51KB)

許可を受けた後一定の変更が生じた場合の変更の届出の際に必要な提出書類を記載しています。

### (3)経営業務の管理責任者に係る経験確認書類一覧(PDF:22KB)

許可要件である経営業務の管理責任者の経験を確認するための書類について記載しています。

### (4)常勤性確認書類一覧(PDF:25KB)

次の方についての常勤性を確認するための書類について記載しています。

1. 経営業務の管理責任者

2. 営業所の専任技術者

3. 建設業法施行令第3条に規定する使用人

### (5)建設業許可関係様式・記載要領

#### 1.建設業許可関係様式・記載要領一括ダウンロード(PDF:2,902KB)

全ての様式及び記載要領を一括でダウンロードすることができます。

#### 2.建設業許可様式エクセルデータ等

様式第1号：建設業許可申請書 (EXCEL:68KB)・記載要領(PDF:35KB)

別紙1：役員の一覧表(EXCEL:29KB)

別紙2(1)：営業所一覧表(新規許可等)(EXCEL:65KB)・記載要領(PDF:18KB)

別紙2(2)：営業所一覧表(更新)(EXCEL:29KB)

別紙3：収入印紙、証紙、登録免許税領収証書又は許可手数料領収証書はり付け欄(EXCEL:15KB)

様式第2号：工事経歴書(EXCEL:20KB)・記載要領(PDF:13KB)

※工事経歴書(様式第2号)の記載フロー・記入例

**工事経歴書の記載方法、記入例です、ご一読ください。**  
様式第3号：直前3年の各事業年度の工事施工金額(EXCEL:20KB)

様式第4号：使用人数(EXCEL:16KB)

様式第6号：誓約書(EXCEL:16KB)

様式第7号：経営業務の管理責任者証明書(EXCEL:40KB)・記載要領(PDF:40KB)

様式第8号(1)：専任技術者証明書(新規・変更)(EXCEL:68KB)・記載要領(PDF:36KB)

様式第8号(2)：専任技術者証明書(更新)(EXCEL:48KB)・記載要領(PDF:20KB)

様式第9号：実務経験証明書(EXCEL:32KB)

様式第10号：指導監督の実務経験証明書(EXCEL:41KB)

様式第11号：建設業法施行令第3条に規定する使用人の一覧表(EXCEL:26KB)

様式第11号の2：国家資格者・監理技術者一覧表(新規・変更・追加・削除)(EXCEL:70KB)・記載要領(PDF:26KB)

#### 3.決算の変更届関係様式ワードデータ

別紙8：変更届出書(WORD:25KB)

※毎営業年度(決算期)を経過した際に提出いただく書類です。

## ◆経営事項審査◆

平成20年4月2日以降の改正内容

HPトップ>土木総務課建設産業対策室>経営事項審査>経営事項審査について

\*申請様式が一部変更になりました(平成21年4月1日以降の申請から)

\*経営事項審査面接時にご提示いただく書類を一部簡素化しました(平成21年4月1日以降の申請から)

(変更後の提示書類は経営事項審査申請の手引き(PDF:3340KB)をご覧ください)

\*経営事項審査申請の手引き(PDF:3340KB)に後期高齢者医療制度の対象者の常勤性確認書類を追加しました(平成20年7月1日)

\*業種コード及び技術職員コード(PDF:21KB)の一覧表を掲示しました(平成20年4月18日)

### 申請書様式等(平成21年4月1日改正)

#### ・国土交通大臣許可業者の申請方法等について

大臣許可業者は、国土交通大臣が公示した確認書類が必要となります。

詳細については、国土交通省中国地方整備局HPへ

#### ・経営事項審査申請等様式

##### 申請書及び記載要領(平成21年4月1日改正)

様式名(様式番号)	記載要領	様式	
1. 経営規模等評価申請書・総合評定値請求書 (様式第25号の11)	PDFファイル	PDF ファイル	Excel ファイル
2. 工事種類別完成工事高・工事種類別元請完成工事高 (別紙1)	PDFファイル		
3. 技術職員名簿(別紙2)	PDFファイル		
4. その他の審査項目(社会性等)(別紙3)	PDFファイル		

### ※平成21年4月1日の主な申請書改正内容

#### 1.経営規模等評価申請書・総合評定値請求書(様式第25号の11)

○知事名記載が省略されました。

○ファックス番号記入欄が追加されました。

○一部字句の訂正が行われました。

旧：記入

新：記載

#### 2.工事種類別完成工事高・工事種類別元請完成工事高(別紙1)

○一部字句の訂正が行われました。

旧：審査対象事業年度の前審査対象事業年度又は前々審査対象事業年度

新：審査対象事業年度の前審査対象事業年度又は前々審査対象事業年度及び前々審査対象事業年度

### 関係書類

○経理処理の適正を確認した旨の書類

PDFファイル Wordファイル

こちらの国土交通省のHPでもダウンロードできます。

### 業種コード及び技術職員コード一覧(平成20年4月18日追加)

○別紙二「技術職員名簿」を記入する際の業種コード及び技術職員コード一覧表です。

PDFファイル



## 平成20年度 安全委員の活動について

安全委員 三代修治

昨年は、安全委員会（6回）、安全パトロール（夜間含む計5回）、現場代理人安全管理研修会（2回）、出雲分会総会における安全表彰の候補者推薦（事業場2社、個人2名）等の活動を行いました。

安全パトロールの書類関係では、危険な作業の作業手順書や、建設機械の作業計画書などが作成していない等の指摘事項が多く見かけられ、反面 リスクアセスメントを確実に実行している現場もあり評価できるところでした。現場関係では、いまだに、車両、重機にキーの付けっぱなしや、車両の車止めの不備等の軽微なものが多く、事故につながる重大な不備は幸いにもありませんでした。安全意識の周知徹底を図っている現場もあり勉強になるところも有りました。これから良いところは参考にして、積極的に広めて行きたいと思います。

現場代理人安全管理研修会では、出雲市消防本部より講師を招き、救急救命の指導をしてもらい、応急手当（心肺蘇生、AEDの使用手順等）の模擬実践を行いました。

現場では、日射病、熱射病、事故等いろいろあると思われます。それに対する応急手当の方法を知っている事で、救急車が到着するまでの間、少しでも救命につながれば良いのではないかと考えます。こういった事故がないのが理想ですが、不幸にも事故が起こった場合、対処法を知っておくのも良いのではないかと思います。

安全表彰では、安全パトロールを行った中から、事業場2社、個人2名（推薦数は、その時の評価による）の優秀な現場を推薦し表彰されました。安全表彰を受けることで事業場、技術者の評価が上がりますので、まず、安全パトロールを受けていただきたいと思います。

パトロールでは、書類の不備や、危険箇所を探しまわるという考え方ではなく、あくまでも指摘がないような現場にてもらいたいということです。それが無事故無災害になり、表彰にもつながります。事故や災害を起こさないように各現場でも、いろいろ工夫をされていると思います。そのアドバイスとなるようにと考えてもらえば良いと思います。

今後とも、安全委員の活動と安全パトロールにご理解とご協力をよろしくお願いします。



キーの付けっぱなし



なんでこの間はコーンがないの？



良好であったところ



安全意識の周知徹底



## 新任ご挨拶

(社)島根県建設業協会出雲支部  
事務局長 小野博己

このたび、(社)島根県建設業協会出雲支部事務局長を拝命しました小野でございます。私は、昭和50年1月に島根県に採用され、34年余りの県職員生活を終えたばかりです。県では主に土木部の勤務が長く、約3分の2にあたる24年間を土木行政に携わって参りました。県職員になりたてのころの昭和50年代は、オイルショックを背景に、日本経済も高度成長から安定成長へ移行し所得の増加も進み、戦後派世代の「ニューファミリー」による世帯数の増加などから家電製品や自家用車等のモノが大量普及して、豊かさを追求していった古き良き時代のように記憶しております。

その当時は、遅れている島根県内のインフラ整備を進めるために、道路の改良、舗装、河川改良等の公共事業に加え、教育文化活動のための文化施設など公共投資も一定量注ぎ込まれており、県内産業もほぼ順調に伸びていたように思われます。

しかし、バブル経済崩壊後、財政再建の観点から公共事業の大幅な見直しが行われ、更には「骨太の方針」で財政運営・公共投資の見直し等、構造改革が進み公共事業の大幅な削減へとつながってきました。

島根県においても公共工事は平成10年度をピークに毎年減少し、この10年で事業量も半分以下に減少してきております。ここ数年来の公共事業の激減が建設業の経営に大きなダメージを与え、地域経済や雇用にも大きな影響を及ぼしており、大変苦慮しているところです。

島根県では財政再建を進めるにあたり、財政健全化基本方針（平成19年10月）を策定し、公共事業の見直しを進めております。しかしながら、大都市から遠隔地に位置する島根県の発展には、道路等の交通基盤や災害に強いまちづくりを進める必要があり、社会資本整備は避けて通れないものと思います。日進月歩で世の中が変わることはあっても、社会資本整備という建設事業がなくなることはありません。しばらくは、厳しい経済状況が続くものと思われますが、業界の皆様方の知恵と汗が必ずこの状況を克服されるものと確信しております。私もこの業界、並びに建設業協会出雲支部の発展のため微力ながら精一杯頑張っていく所存であります。前任者同様、格別のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

### 《自己紹介》

- ◆生年月日 昭和24年10月13日生まれ
- ◆出身地 邑智郡美郷町浜原
- ◆家族 妻（由美子）、犬（キャンディ）
- ◆現住所 出雲市稻岡町263-3
- ◆趣味 犬との散歩、カラオケ



犬との散歩 ダックスフンド



## 編 集 後 記

新聞やテレビでモンスター・ペアレントや給食費未払い問題などの記事を目にします。モンスター・ペアレントなどは親の身勝手な都合による学校へのクレームで先生がノイローゼになったり、自殺者まで出ているようです。本当にこんな親がいるのかと耳を疑ってしまうほどひどい内容です。これは都会の話だけではなく、出雲のような田舎でもいろいろとあるようです。先日も友人から聞いた話ですが、ある中学校の卒業式の日程を自分の住んでいるところの行事と重なるので日程を変えてほしいという親がいたそうです。なぜそのようなむちゃくちやなことが当たり前のように言えるのでしょうか？このような問題がおこるのはやはり現代の社会に「公共心」が薄れているからだと思います。社会の中で生かされないと気づけば思いやりや感謝の心も芽生えると思います。教育の始まりは家庭からとよく言われます。私も二人の小学生の親であります。偉そうなことを言えるような人間ではないですが子供達にはそのような心を大事にする大切さを教えて行きたいと思っています。また、私たちは公共事業という「公」の仕事に携わっております。仕事をさせて頂く事に感謝し、住民の皆様に喜んでもらえるような仕事ができるように日々、頑張りたいと思います。

平成20年度は支部創立60周年ということで今回の会報は記念特集号と致しました。

昭和23年頃と言えば、私の祖父が大工としてバリバリ仕事をやっていた時で、その数年後に会社を起こしたようです。もちろん当時私の存在は影も形もありませんでしたが、今現在次期世代の後継者として建設業を任っている自分を見ると“時の不思議さ”を感じます。今は大変に厳しい状況ですが、冬の季節が巡って必ず春が訪れるように建設業にもいずれ春が来ることを願ってやみません。

経営改善研究委員 山根 強